

二国和平・EMP 攻撃・サイバー攻撃

今日は、預言のパズルのピースが、ものすごい速度でそろい始めている件について、お話しします。2007年だったと思いますが、この預言アップデートを始めて以来、これらの事が、どの程度起こったか、またどれほどの速度で起こっているかについて、私はこの一週間、考え、思いを巡らせていました。かれこれ11年です。何年も聖書預言を学んでおられる方もいらっしゃるでしょう。中には何十年と学んでおられる方もいらっしゃるでしょうが、みなさんなら、預言的出来事が急速に進んでいるのを、感じておられるでしょう。主がいつ来られるのか、その日、その時は私たちには分かりません。ただ、その時がものすごく近い事は、数々の証拠から、私たちにも分かります。同時に私たちは、聖書を学びながら、キリストの花嫁として、花婿が夜の盗人のように、迎えに来てくださるのを待ち望み、それに備えています。しかしながら、主の来られるのを待ち望み、さらには切望するうちに、多くの人が疲れ果て、失望していくのも目にしており、本当に心が痛みます。第二テモテ 4:6-8 で、パウロはこのように書いています。

“私は今や注ぎの供え物となります。私が夜を去る時はすでに来ました。私は勇敢に戦い、走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通しました。今からは、義の栄冠が私のために用意されているだけです。かの日には、正しい審判者である主が、それを私に授けてくださるのです。私だけでなく、主の現れを慕っている者には、だれにでも授けてくださるのです。” (第二テモテ 4:8)

これ、どういう意味か分かりますか？我々、「主の現れを慕っている者」に、用意されている。これは、“キリストのさばきの座”(第二コリント 5:10)の事で、“大きな白い御座”(黙示録 20:11)ではありません。ここでの比喻でパウロが使っているのは、古代のオリンピック大会です。皆さんの前に、審査員席があって、この人達は、皆さんに罰を与えるために居るのではなく、皆さんが、どれくらい見事に競争を走りぬいたかを審査し、皆さんの頭に、葉っぱで出来た冠を授けるために、もしくは、皆さんの首に金メダルをかけるために居るのです。金曜日、子供自慢で申し訳ないのですが、私の娘が、ソロ声楽の小学生の部で優勝しました。これは、「Brown Bags Stardom」(アメリカのテレビ番組)のようなもので、そこで娘が優勝したのです。しかもそれだけではありません。私は、審査員席のすぐ後ろに座っていたのですが、娘を審査して、優勝を与えた審査員たちです。娘は、小学生部門のソロ声楽で優勝しただけでなく、特賞も受賞したのです！

ともかく、私はパウロがテモテに言ったことを思い出していました。かの日には、審査員たちが居て、私たちも褒美がもらえるのです。褒美がもらえるのは誰ですか？「主の現れを待ち望んでいる者」には、特別な褒美があるのです。これには励まされますよね。とても励まされます。第一テサロニケで、パウロはこう言って、テサロニケの教会を励ましています。

“眠った人々のことについては、兄弟たち、あなたがたに知らないでいてもらいたくありません。あなたがたが他の望みのない人々のように、悲しみに沈むことのないためです。私たちはイエスが死んで復活されたことを信じています。それならば、神はまたそのように、イエスにあって眠った人々をイエスと一緒に連れて来られるはずで（死の事を言っています）。私たちは主のみことばのとおりに言いますが、主が再び来られるときまで生き残っている私たちが、死んでいる人々に優先するようなことが決してありません。主は、号令と、御使いのかしらの声と、神のラツパの響きのうちに、ご自身天から下ってこられます。それからキリストにある死者が、まず初めによみがえり、次に生き残っている私たちが、たちまち彼らといっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。”（第一テサロニケ 4:13-16）

ちなみに、この「引き上げられる」は、新約聖書の言語ギリシヤ語は、「harpazo」これが、ラテン語で「rapus」。ここから英語の「rapture（携挙）」という言葉が出てきたのです。だから、今度誰かが、「携挙なんて言葉、聖書のどこに書いてある！？」と言ったら、ラテン語の聖書がここにありますが、「この“raptus”が”rapture”（携挙）ですよ。」と言いましょ。ともかく、ケンカ腰でなく、愛をこめて言いましょ。

“たちまち彼らといっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。このようにして、私たちは、いつまでも主とともにいることとなります。”（第一テサロニケ 4:17）

ところで、これは患難前携挙について、議論の際には、いわゆる証拠となる聖句です。彼はこう言っているのです。

“こういうわけですから、このことばをもって互いに慰め合いなさい。”（第一テサロニケ 4:18）

もし携挙が、7年患難の前に起こらなければ、とても残酷ですよ。「あなたは、大患難に遭遇する。」こんな言葉で、励まし合うのですか？「キリストの花嫁は、しばかれて、ボコボコにされる。」だから、この言葉をもって、互いに励まし合いなさい？違いますよね。なぜこの話をするのかと言うと、もし皆さんが、主の戻って来られるのを待ち望むことに失望しているなら、どうか元気を出してください。この終わりの時、私たちの贖いは、これまでの人類史上に無かったほどに近づいています。どうか元気を出してください。善を行うのに飽いてはいけません。失望せずにいれば、時期が来て、刈り取る事になります。（ガラテヤ 6:9）失望しないでください。イエスは言われました。

“あなたがたは心を騒がしてはなりません。わたしの父の家には、住まいがたくさんあります。”（ヨハネ 14:2）

先週話した通り、これは婚姻部屋です。

“もしなかったら、あなたがたに言っておいたでしょう。あなたがたのために、わたしは場所を備えに行くのです。わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。”（ヨハネ 14:2-3）

心を騒がせないで、失望しないで、元気を出してください。

“現在の苦しみは、将来わたしたちに現わされるはずの栄光に比べると、取るに足らないとわたしは思います。”
(ローマ 8:18)

わたしたちは失望しますか？もちろんします。私の大好きな、Oswaid Chambers の言葉は、
「神は、人が絶望する事を責めたりしない。私たちは、時に落胆して、それが絶望に変わる事がある。しかし、主
が来られるのを待ち望む私たちの願いは、すぐに叶えられる。」

箴言 13:12 は、対比的な箴言の一つですが、それにはこうあります。

“期待が長びくと心は病む。望みがかなうことは、いのちの木である。”(箴言 13:12)

主がこれらる事を待ち望む、私たちの願いは、永遠のいのちの木として、すぐに叶えられると私は信じています。

今日私が、皆さんの前に立って、次の事をお伝えする主な理由は、それが皆さんの励みになるからです。私はこ
れを信じ、私自身も、これによって励まされています。そして、理由はいくつもありますが、主な理由の一つであ
り、また、個人的に大きな励みになっている事はこれです。

それは、現在の地政治的な空気です。ユダヤ人とパレスチナ人が隣り合って、平和に、安全に生活するいわゆる
“二国解決案”が、申し分なくまとまりつつある。この一つの理由が、イエス・キリストの来臨に関して、私が、個
人的になぜそれほどまでに励まされているかを説明します。どうかお聞きください。

Jerusalem Post の記事から始めます。記事から抜粋してお伝えしますので、皆さんには、どうか、この“新しいト
ーン(声色)”を聞き取って欲しいと思います。この“トーン”を聴き取ってください。ちなみに、これは見出しです。
——「アッバースが、イスラエルとの和平同意に合意する事を決断」——

へえ、これは、新しいですね。記事にはこうあります。

——パレスチナ大統領のマフムード・アッバースは、境界を越え「イスラエルとの和平同意に向けて、前代未聞
の用意がある」と言葉にした。イスラエルとパレスチナとの対話再開に尽力を注いでいる側の親しい情報源が、
Jerusalem Post に告げたのは、先週のトランプとの面談以降、アッバースは攻撃的な口調を変え、彼が前回出
した命令に、柔軟性を反映した数々の声明を発表した。例えば、「トランプの援助の元、**前提条件なし**に話し合
いを再開する」。過去に、彼はこう言いました。「入植建設を凍結しなければ、ネタニヤフとの交渉には応じない。」

面白い。これは新しいです。

——さらに彼が、顧問を通してマスコミに宣言したのは、「パレスチナは、イスラエルとの土地の交換について、

交渉の準備は出来ている。」「将来の同意案の枠組みの中で、西岸入植地のいくらかを、イスラエルの一部として残しておいても良い。」——

これは驚愕です。これが金曜日(5/12)の事です。その前日の木曜日 The Times of Israel が、とても興味深い記事を報道しています。パレスチナ高官のマフムード・アッバースが、ロシアの大統領ウラジミール・プーチンと面会し、こう言いました。

——「イスラエルとパレスチナ問題は、和平プロセスにおいて、モスクワの参加無くしては**不可能だ**。和平プロセスにおいて、ロシアの意義ある協力が無ければ、パレスチナ問題を解決するのは不可能だ。それを我々は国際会議の中で、強調してきた。」アッバースは、プーチンとの面会の中で言い、プーチンはそれに答えて言った。「ロシアは、引き続き、パレスチナとイスラエルとの、直接対話の再開に全面的に協力する。パレスチナとイスラエル二国の“平和”な“共存”は、この地域における、真の**“安全と安定”**の為には、必須条件だ。」

パレスチナの公式ニュースサイト“Wafa”の報道によると、アッバースもまた繰り返して言いました。

——「今でも、ネタニヤフ首相と、モスクワで三者首脳会談を行う事を希望している。」「我々は、いつでもこの招待を受ける用意が出来ている。」と、アッバースは言った。——

そうですか。次の問題は、これら全てに対するネタニヤフの反応です。またもや、彼に責任が課せられました。それに関しては、この Ynet News の報道を見れば十分でしょう。それによると、イスラエルとパレスチナ問題解決に対する、トランプの関心に対して、ネタニヤフは慎重になっているとのこと。

——トランプ大統領が、イスラエルとパレスチナ問題の解決について、「“最終的な和平協議”を何としてでもまとめる。」と言って関心を高めている事に、ネタニヤフは危惧している。——

何！？私はてっきり、ネタニヤフとトランプが、ぴったり合っていると思っていましたが。彼がワシントンのホワイトハウスを訪れた時の、歓迎ぶりを見ましたよね？彼の為に、レッドカーペットが敷かれたのを見ましたよね？二人の間での合意。ところが突然、トランプがなんとしてでも和平同意を再開させようとしている事に、ネタニヤフは慎重になっている？イスラエル高官が言ったのは、

「(今月末の)トランプのイスラエル訪問の間に、大統領は、イスラエルとパレスチナの交渉開始を発表する。」

「トランプは、イスラエルでマサダを訪れ、数百人の来賓の前で、基調演説をする事を強く希望している。」

私たちと一緒にイスラエルを訪れたことのある方は、マサダと言う場所の、重要性をご存知でしょう。

「彼はさらに娘のイヴァンカと娘婿のジャレッド・クシュナーと共に、西壁を訪れる事を希望している。」

これに関して、とても興味深いと思ったのは、Post 紙によると、

——17人のアラブ人とイスラム指導者達が、スンニ派陣営と提携し、6月21日水曜日、トランプの訪問中にリヤドで開催さえる首脳会議へ、サウジのサルマーン王より招待を受けた。——

アメリカ大統領は、イスラエルを訪れ、サウジアラビアに行つて、あっちこちに行くのです。彼はバチカンも訪問

します。彼がそれをするには理由があって、これがどのように展開するか、とても興味深いですね。第一回目の会議は、トランプとサウジ王との面会です。その後、イスラム、アラブ、アメリカ首脳会議が招集され、それに続く、最後のイベントで、トランプは、ペルシャ湾岸石油王国との指導者達と集う。

——リヤドの高官は、「トランプのサウジアラビア訪問は、我々が最も実現させなければならない“歴史的出来事”だ。」とその構えを繰り返して伝えた。——

そうですか。

「それに関して、イランは何と言っているのですか？」

よくぞ聞いてくれました。記事は、続けてこう伝えています。

——イランはそれに反対して、「時代遅れのサウジ政権が、またしてもイランとワシントンとの同意を台無しにしようとしている。」——

これを覚えていますか？核協議です。

——「そして、ユダヤ主義者の代理のように振舞って、イランに対して前線を築いて、トランプ大統領に献上しようとしている。」——

わお。まるでエゼキエル38章のように聞こえませんか？特に13節です。その中で、サウジアラビアの古代名、シェバ、デダンがイスラエルに攻め込むロシア、イランの同盟国に抗議します。次の事を忘れては行けません。サウジアラビアは、“サウドの家”という意味の、スンニ派イスラムで、イランは、シーア派イスラムです。

これらを全て、預言的な意味に結び付ける前に、あと2つ記事を紹介したいと思います。そうする事で、皆さんも預言的パズルをよく理解できると思います。

これは、電磁パルス攻撃によって、ハワイが絶望的になるという Fox ニュースの報道です。とても皮肉なことに、私が生まれた日1962年10月9日に、ハワイが膨大な電磁パルスに襲われたのです。またの名を、EMP 攻撃としても知られています。それによって、数分の内に州の通信系、信号と、実質、電気で作動されているすべてのものが遮断されました。世界中が大変な時に、私は生まれたのです。といっても、私はハワイではなく、レバノンのベイルートで生まれたのですが。EMP(電磁パルス)は、外国政府による攻撃ではなく、アメリカ政府によるもので、アメリカ政府が、“スターフィッシュ・プライム”と呼ばれる作戦の中で、1.4メガトンの核弾頭を、ジョンストン島の248マイル上空で爆破させたのです。記事は続きます。

——北朝鮮は核開発と、大陸間の弾道ミサイルの能力を発展させており、ハワイの防衛専門家は、彼らはハワイを EMP 攻撃の標的にすることが出来ると、危惧している。Toby Clairmont 米国連邦緊急事態管理局副行政

官によると、(よく聞いてください)「これは、仮想の問題でなく、もうすでに起こった事だ。」——
すでに起こった。

次に、Times of Israel の2つの記事です。70ヶ国以上を襲った、“史上最大のサイバー攻撃”についてです。恐らく皆さんも耳にしているでしょう。報道によると、

——金曜日、大規模なサイバー攻撃が数十か国を遅い、病院や電子通信会社、その他会社のコンピューターデータを取って、身代金を要求した。攻撃は、弱点に付け込んだと見られ、米国国家安全保障局の仕業であるかのように偽装特定された後、インターネット上でリークされた。——



数年前に私が作った“預言パズル”を少し手直して、もう一度引っ張り出してみました。これら全てを、現在世界中で起こっている事すべてに結び付けていきたいと思います。その前に、前提として言っておきます。私は、全てを把握したという意味で、これをお伝えしているのではありません。これは、ただ妥当なシナリオの一つです。妥当なシナリオとは、これらの全ての事が、どのように、またいつ起こり成就するのか、一つの可能性に過ぎません。時間の関係がありますので、これらの預言について、またこれらに伴う事に関しても、

皆さんがすでにご存じである事を前提に、進めていきたいと思います。もし、ご存知ない場合は、どうぞベレヤ人(使徒の働き 17:11)のように、聖書を調べてください。

まず、私たちはパウロが言った、突如の滅びの寸前だと思います。

“人々が「平和だ。安全だ。」と言っているそのようなときに、突如として滅びが彼らの襲いかかります。”

(第一テサロニケ 5:3)

その為に、次来るパズルのピースが、シリアのダマスカスの破滅に関するイザヤ 17 章で、シリアのダマスカスの突如の滅びです。イザヤ 17 章に伴って、ゼカリヤ 12 章のピースが続きます。全世界がいかにエルサレムの境界線、重い石を移す事に憑りつかれ、よろめいているか。ゼカリヤ 12 章に加えて、エゼキエル 38 章のピースも配置しました。ロシア、イラン率いる同盟国が、現在、イスラエルを攻め込む配置に着いていますから。また、私がエゼキエル 38 章 13 節について、何度もお伝えするのは、タルシュシュと若い獅子たちが、サウジアラビアと一緒にあって、このロシア、イラン率いる同盟国の攻撃に対して抗議すると、そこに書かれているからです。そして、全ての国が配置に着いていると私がいう時は、これらの国、特にサウジアラビアも含めて、預言的に、完璧な位置に着いているのです。今、こうして話しているうちにも、です。

次に、ダニエル 9:27 と、黙示録 13 章を次に持ってきた理由は、反キリストが 7 年の大患難を開始すると、私は

信じているからです。それと共に、世界統一政府、世界統一経済、世界統一宗教も始まります。私達が今こうして話している間にも、世界の地政治が預言的に完璧な配置に着いているだけでなく、技術的に見ても、整っています。手の甲にマイクロチップを埋め込む技術、あるいは、手の甲、または額に着けるタトゥーやスタンプだという人もいますが、技術は今日すでに存在します。それが無ければ、「だれも買う事も売る事もできない。」(黙示録 13:17)そして、世界が経済的に一つになるには、何かが起こらなければならないのです。サイバー攻撃は、確実に説明がつくでしょう。同じように EMP 攻撃も。そのシステムが、しかるべき形に置かれるはずで、その技術は今日存在しています。それによって、反キリストが世界統一経済として、世界を支配するのです。同じように彼は、世界統一政府も支配します。私たちが近年頻繁に耳にしている、NWO(世界新秩序)です。

それから、恐らく最も重要なのが、世界統一宗教です。何故かと言えば、これが“獣のしるし”となるからです。ある有名な聖書教師の教えとは反対ですが、誰でも、一旦このしるしを受けた者は、永遠に絶望的です。物語は終わります。そして、7年の大患難の間に、このしるしを受ける事を拒む人は、命を失います。彼らは、首を斬られるのです。彼らは、患難時代の聖徒と言われています。彼らは、イエス・キリストによる救いの知識に至り、反キリストのしるしを受ける事を拒みます。この、反キリストのしるしは、人々を封印するのです。イエス・キリストが、贖いの日に聖霊によって私たちに印を押されるのと同じです。その為に彼らは、患難時代の聖徒と呼ばれるのです。

最後に、私たち全員が今日問うべき質問を、皆さんに提示して終わりたいと思います。

これが今日、私が一番言いたかった事です。この預言パズルに、携拳が入っていないことにお気づきですか？
そこで質問は、携拳は、このシナリオのどこに当てはまるのか？

何度も言いますが、これは妥当なシナリオであって、断定している訳ではありません。それでも私は、携拳は、第一テサロニケ 5:3 の“突如の滅び”と同時に起こる可能性が、非常に高いと思っています。

“人々が『平和だ。安全だ。』と言っているそのようなときに、突如として滅びが彼らに襲いかかります。ちょうど妊婦の産みの苦しみが臨むようなもので、それをのがれることは決してできません。”(第一テサロニケ 5:3)

これは興味深い例えですよ。イエスも、このたとえを使われました。そして、パウロがこの例えを使うのはいつも、主の来臨を伝える時です。“産みの痛み”“妊婦に産みの苦しみが臨む”。何故かと言えば、パウロが第一テサロニケで、『彼ら』、『私たち』と描写していて、「『彼ら』に襲いかかる。」しかし、「生き残っている『私たち』は、一挙に引き上げられる。」と書かれています。『彼ら』と『私たち』です。言い換えれば、これが同時に起こると考えるのが妥当で、また、それが当てはまるのです。ぴったり当てはまる。何故かと言えば、突如の滅びは、ただのサイバー攻撃や、核攻撃というよりも、こう考えてみて下さい。教会が取り除かれた時、世界を襲う滅びが、どれくらい突然にやって来るか。携拳によって、この国が骨抜きにされ、そのために、終末の聖書預言に、この国が出てこないのだとすると、説明がつくという考えもあって、それがぴったり当てはまるのです。私には、これがとても納得いくのです。

次に、もしそうなら、私は、そうだという確信がどんどん増していますが、イエスがルカの福音書 21:28 で言われ

た通り、私たちは頭を上げなければなりません。私たちの贖いが近づいていますから。そして、これが私にとっては大きな励みになっているのです。とても励まされます。前にも同じことを言いましたが、また言います。私はここを去る時まで、言い続けます。皆さんも、ずっとここに居てはいけませんよ。これがあるから、私は朝起きる事が出来、これがあるから、私は一日を生き抜くことが出来、これがあるから、私は夜枕して眠る事が出来るのです。私のイエスがすぐに来てくださり、私の贖いが近づいていると知る事は、祝福された望み、祝福された確信です。今の時のいろいろの苦しみは、将来ラッパの音が響いたときの栄光に比べれば、取るに足らないものと私は考えます。だから私は励まされるのです。これら全ての事が、起こり始めていますから。

ところで、今日私がお伝えしたことは全て、神の御霊によって新生した人へのみ、当てはまります。もし、あなたがこれまで一度も主の御名を呼び求めて救われていないなら、正直にいうと、あなたにこの希望はありません。あなたは、これを励みにする事は出来ません。これは、贖いが近づいているのは、神の御霊によって新生した人にだけ、当てはまるのです。だから私は、これまでに一度も主の御名を呼び求めた事の無い人に、この機会を設けているのです。

でもその前に、「救いの ABC」に関して、先週私の所に届いてメールを、皆さんにお読みしたいと思います。

——Pastor JD へ。毎週日曜日の夜、ケンタッキー州で、先生の預言アップデートを拝見しています。『救いの ABC』について、先生にお話ししたいことがあります。私は中毒からの回復中で、同時に回復中の女性たちの支援もしています。ここは、ケンタッキー州北部および、シンシナティ地域で、ヘロイン売買の拠点です。私たちの刑務所は、中毒者と売買人でいっぱいです。私たちはそこに行って、チームの一員として福音を伝えています。しかしながら、中には福音をととても複雑に考えている人がいて、とてもストレスが溜まります。刑務所での時間は短く、受刑者たちは退屈しており注意散漫です。自分がどん底に居た時、私は長ったらしい神学的な論文は聞きたくなくて、だた、自分も救いようがあるのかどうかを知りたかった。もし、救いようがないなら、仕方がない。私は彼らに、このメッセージをどれほどシンプルであるか伝え、先生のアップデートと、救いの ABC を見せました。ひらめきと言えば、アーティストである私は、救いの ABC のブロックと聖句も入れて、カードを作っています。それが印刷されれば、シンプルな救いのメッセージで固められたものが、女性たちにも渡されます。私は、中毒患者に届けられる道具が与えられた事に、とてもワクワクしています。回復初期にある人の多くが、正常に機能できないので、メッセージをシンプルにする必要があるのです。(ここがとても興味深いのですが)アルコール等の中毒者は、通常の脳の機能を取り戻すまでに、アルコールやドラッグを完全に絶ってから、18か月かかります。何とか読める人は少数で、ほとんどの人がそれも出来ません。——

なぜこれをお伝えしたかと言うと、「救いの ABC」を伝えていると、あまりにも簡単すぎると、かなり厳しい批判にさらされるのです。ちなみに、これは私が考えてのではありませんよ。私はただ、画像にただけです。頭文字を取って、ABC の意味を記入しただけで、ローマ書を元にしたのです。



“すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉をうけることができず、”(ローマ 3:23)

神の完璧な基準に届かない。

“「義人はいない。ひとりもない。」”(ローマ 3:10)
ただ、イエス・キリストだけです。

A=Admit (認める)

自分が罪人である事を認める。自分が罪人であるため、神からの栄誉を受ける事が出来ないと認識するのです。全ての人が罪を犯した。私たちは誰もが生まれながらの罪人で、だから私たちは、霊的に新しく生まれなければならないのです。

B=Believe (信じる)

パウロがローマの人に書いています。あなたの心で、イエスが十字架にかかり、神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら (ローマ 10:9)、

C=Call, Confess (呼ぶ、告白する)

“口で告白して救われるのです。” (ローマ 10:10)

“「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる。」 (ローマ 10 : 13)

ここで人は、『R』のような文字を付け加えたがるのです。でも、『救いの ABCR』ではダメなのです。『R』とは何か？『Repent/悔い改める』です。今週もまた、同じ話をしたいと思います。その必要を感じていますから。私がキリストに立ち返った時、自分が罪人だと認識した時点で、悔い改めが起こったのです。自分が罪人であると認識する。それが悔い改めの意味です。180度変わります。私は自分が罪人であり、救い主が必要だと認識した時に、180度向きを変えたのです。それが、悔い改めです。あの時、そんな風に悔い改めたのです。

前にも言いましたが、私はルームメイトと一緒に住んでいて、部屋に入って行ったのです。その時、私はひどく酒に酔っていて、ドラッグでハイになっていました。私は、祈りながら気を失ってしまいました。私の脳は、ドラッグや当時の私の生活習慣によって、大きなダメージを受けていたのです。全く自慢には思っていませんよ。だから、このメールに私はとても心を打たれたのです。私も、シンプルにしてもらう必要があったから。あの時の私の祈りは、立派なものではありませんでした。誰の後にもついて繰り返したりしていません。ただ、とてもシンプルな形で福音を聞いて、それに応えたのです。悔い改めたのです。私の祈りが、基本的にどんなだったかと言えば、「地獄へは行きたくありません。」

「ぼくは今、“地獄のハイウェイ”にいます。」

「ACDC が歌っていたように『地獄へのハイウェイ』には、ぼくは居たくありません。」

「イエス様。ぼくは天国に行きたいです。地獄に行きたくない。」

そして、子供の頃に聞いたことを覚えていて、こう祈りました。

「ぼくは、永遠のいのちの泉の水が飲みたい。」

そして、そのまま眠ってしまったのです。翌日、目が覚めると、私は新しく造られた者になっていました。新しくなっていたのです。本当にそれが起こったのです。私は、ドラッグやお酒、たばこ、その他そういった物がなければ、一日が始まらなかったのです。だから、それらに手を伸ばした時に、私の内に宿っていた聖霊は、私に言ったのです。

「そんな物はもう、あなたに必要なない。」

そして、それが、本当に要らなかったのです。それから、私の ACDC のレコードを売り払いました。本当は燃やしてしまうべきでしたが、お金が必要だったのです。それに関しては、神が許してくださったと思います。あれ以来、一度も振り返っていません。あれから35年です。私は“Good News 訳”の聖書にすがりつきました。私は、脳にダメージを受けていましたから、大変な事でした。脳はダメージを受けていましたが、それでも Good News 訳はとても簡単な聖書で、私は創世記から黙示録まで、初めて通して読んだのです。それは、とてもシンプルで、私にとっては、シンプルでなければならなかったのです。もし、あれがシンプルでなかったなら、私は今日、ここに立っていません。だから今日、皆さんにお願いします。もし、今までに一度も主の御名を呼んで救われていないなら、子供にでも分かるほど簡単ですから、どうか、今日呼び求めてください。そうすれば、あなたも私たちが持っている、祝福された望みを持つことが出来るのです。贖いが近づいています。

祈りましょう。

天のお父様。あなたの民の、忍耐に感謝します。皆が聞く耳を持って、心を開いてくれることに感謝します。主よ。私が牧らせていただいている、この素晴らしい教会に、また世界のどこかで、これをオンラインで観ている人の中に、あなたの御名を呼び求めた事の無い人、あなたに立ち返った事の無い人、あなたに信頼を置いたことの無い人が居るなら、今日、彼らがそうしますように。あなたの御名を呼び求めますように。ローマ書 10:13 には、「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる」と書いてありますから。主よ、感謝します。主よ、マラナタ！早く来てください。イエスの御名によって、お祈りします。アーメン。

このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe（英語）、「DIVINE US」（日本語）を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」

ヘブル4:7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by まい